

秋季特別展 『山城大督 SENSORY MEDIA LABORATORY』

■ 展覧会概要

会 期：二〇一八年十一月二日（木）—十二月二日（月）
 会 場：京都造形芸術大学芸術館
 企画運営：毛利義嗣
 協 力：京都造形芸術大学アートプロデュース学科 山城大督研究室

芸術館では、縄文土器、シルクロードの工芸品、浮世絵、といった大学の主要なコレクションを順次展示するとともに、同時代の美術作家の表現とコラボレートする企画展を継続開催してきた。今回の特別展は、アーティスト・芸術館・大学・コレクションのさらなる可能性を見出す試みとして開催。

山城大督（アートプロデュース学科教員）は、映像と空間における新しい表現手法を探求するアーティスト。本展では会期中、芸術館を「Sensory Media Laboratory」すなわち「感じることや聴くこと、触ること、匂いや味わいといった感覚を通して思わぬ驚きを体験する研究所／休憩所として開放した。大学のコレクションも巻き込み、土偶、土器の断片、古い工芸品、そうしたモノたちと映像作品等が寄り添いながら、参加者の知覚が新しく動き始める現場となる試みが展開された。



展覧会ポスター

■ 関連イベント

◎十一月六日（木）
 トークセッション「感覚を感じる方法」
 登壇：山城大督×八木良太（美術作家／本学空間演出デザイン学科准教授）
 進行：毛利義嗣（本展企画／芸術館館長）

◎十一月二日（金）

Sensory Media Laboratory LIVE vol.01

「山」音

出演：角銅真実（音楽家／打楽器奏者）

撮影：豊浦英明



展覧会場入口



「SENSORY MEDIA LABORATORY」2018

